

平成29年度東北地方発明表彰について

平成29年11月6日

地方発明表彰は、社団法人発明協会（現公益社団法人発明協会）により大正10年に創設され、各地方において優秀な発明を完成された方々、実施化に尽力された方々、発明等の指導、奨励、育成に貢献された方々を顕彰することにより、発明の奨励・育成を図り、科学技術の向上と地域産業の振興に寄与することを目的として、毎年実施されています。今年度は、本県から下記のとおり受賞が決定しました。

No.	受賞名	受賞者	発明名称	区分	概要
1	日本弁理士会会長賞	日本全薬工業株式会社 研究開発本部 チーフエキスパート 村上 誠 営業本部 安齋 秀	実験動物用翼付採血針	特許	本発明は、従来の翼付静注針を、熟練者でなくても容易に採血できるように改良し、皮膚から浅い位置にある静脈でも、血管にほぼ水平に挿入できるため、注射針の挿入ミスもなく、スムーズに採血ができる。これまで困難とされてきた、ウサギ、ブタなどからの採血も可能となった。
2	福島県発明協会会長賞	三菱電機株式会社 コミュニケーションネット ワーク製作所 工程課 真狩 法夫 技術第二課長 根本 定征	近赤外線照明付き監視カメラのカバー技術	特許	監視カメラは、監視されているという不快感をなくするため、カメラにカバーなどをして、可能な限りカメラを目立たなくする必要はあるが、従来のカバーは可視光線を透過しないため明るいときの撮影ができなかった。本発明は、可視光線をおよそ50%透過することで、カメラを目立たなく、且つ可視光線での撮影を可能としたカメラカバー。

《表彰式》平成29年11月16日（木）14:00から、ホテルメルパルク仙台で行われます。（仙台市宮城野区榴岡5-6-51（022-792-8130））

《問い合わせ先》一般社団法人福島県発明協会（電話 024-959-3351）

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 『地方発明表彰』とは ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

■主催

公益社団法人発明協会

文部科学省、特許庁、中小企業庁、日本弁理士会、各経済産業局、担当県（今年度の東北地方の担当県は宮城県）

各地方における発明の奨励・育成を図り、科学技術の向上と地域産業の振興に寄与することを目的として、大正10年より実施。

全国を8地方に分け、各地方において優秀な発明、考案、意匠を完成された方々、発明等の実施化に尽力された方々、発明等の指導・奨励・育成に貢献された方々の功績を称え顕彰。

■表彰

□発明等に関する表彰

- ・特別賞【文部科学大臣賞、特許庁長官賞、中小企業庁長官賞、東北経済産業局長賞、発明協会会長賞、日本弁理士会会長賞】
- ・県発明協会会長賞
- ・発明奨励賞

□発明奨励に関する表彰

- ・奨励功労賞：発明協会事業を通じ、発明の指導、奨励、育成に多年にわたり尽力し、顕著な功績のある方に贈呈

一般社団法人 福島県発明協会
電話 024-959-3351